

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月19日 更新

事務事業名		人権啓発老人憩いの家維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連						
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	大高和弘		
	施策	23	人権が尊重される社会づくり				所属課	人権啓発教育課	担当者名	曾我陽子		
	基本事業	75	人権教育啓発活動実践の推進				所属班	啓発教育班	(内線)	2513		
予算科目		会計一般	款3	項1	目8	事業連番10883	法令根拠	合志市生坪・立割老人憩いの家条例			成果優先度評価結果	⑫
											コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度		☐ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 57 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	昭和56年から57年にかけて同対事業で建設された、老人憩いの家の管理を行う事業。 昭和57年度に、老人福祉法並びに地域改善対策特別措置法の精神に基づき、老人に対して心身の保持、教養の向上及びレクリエーションのための施設として設置したので、その維持管理を開始した。 平成18年2月の2町合併により、法令が、合併前の「生坪老人憩いの家の設置及び管理等に関する条例」と「立割老人憩いの家の設置及び管理等に関する条例」から「合志市生坪・立割老人憩いの家条例」に変わった。
【業務の流れ】	光熱水費(ガス)の請求に基づく支払い事務。施設修繕費の支払い事務。
【主な予算費目】	光熱水費(ガス代)、施設修繕料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特に聞いていない。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
地元区に施設管理を委託して維持管理を行ってもらった。立割老人憩いの家については、平成20年度から放課後西合志第一小学校児童クラブの利用している。		立割老人憩いの家については、放課後西合志第一小学校児童クラブの利用	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア:利用者延べ人数	人		
→イ:			
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等施設	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
	人	→ア:施設利用対象者数	
		→イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)良好な施設機能を維持する	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
	件	→ア:施設維持管理上不具合・トラブル件数	
		→イ:	
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠 不都合なく安全に利用してもらうための維持管理事業であるため。			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移											
		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込	
① 活動指標		人	2,828	2,312	2,000	4,056	2,000	2,000	2,000	2,000	
② 対象指標		人	78	57	70	0	65	65	60	60	
③ 成果指標		件	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	130	22	22	22	30	30		
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	130	22	22	0	22	30	30	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	0
	人件費	延べ業務時間	時間	55	30	40	30	40	40	40	0
		(B)人件費計	千円	223	119	159	119	159	159	159	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	353	141	181	119	181	189	189	0

事務事業名	人権啓発老人憩いの家維持管理事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	人権啓発教育課
-------	------------------	-----	-------------	-----	---------

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度的事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？
	②27年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度も西合志第一小学校児童クラブの利用が予定されており、施設維持管理上の不具合やトラブルが発生した場合には、早急に対応する。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 現状のように、施設のトラブルや不都合がないよう維持管理に努める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 人権同和教育集会所維持管理事業近くに集会所等の施設があり、二重の維持管理が必要となっているため、見直しの余地がある。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の経費を計上しており削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の職員で事務をしており、事務内容からして現状のままだが適切であるため削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 現状としては地元の人の利用が主であるが、市民を対象としており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 施設管理については、地元区に委託している。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

地元区に施設管理を委託して維持管理を行ってもらった。立割老人憩いの家については、放課後、西合志第一小学校が児童クラブとして利用している。他の事業からの憩いの家の利用についての協議があったら検討していく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 地元区に施設管理を委託して維持管理を行ってもらった。立割老人憩いの家については、放課後、西合志第一小学校が児童クラブとして利用している。他の事業からの憩いの家の利用についての協議があったら検討していく。		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								